



九月二十七日 入金 曜日 日直

子どもたちをはぐくみ・ささえ・つなぐ

新たな三学期制が はじまります

令和2年4月1日スタート

■学校教育課(内線367)

大村市教育委員会
教育長 遠藤 雅己

教育は、子ども一人ひとりの未来を創り、地域社会全体の明るい未来へとつながります。

市では、これまでの二学期制の良さを生かし、令和2年度から新たな三学期制に移行します。キーワードは「豊かな学力」「確かな育ち」「多様な感性」の3つです。

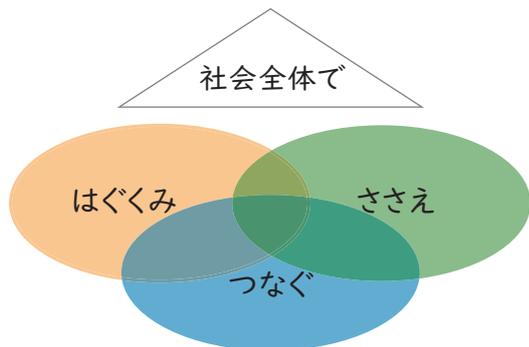
大村の子どもたちには、学校での学習だけでなく文化活動やスポーツ、そして地域の伝統行事にも進んで取り組み、社会の一員として活躍し、仲間と力を合わせ、たくましく生き抜く人間に育ってほしいと願っています。

そのためには、大村市の教育を社会全体で「はぐくみ」「ささえ」「つなぐ」ものにしていきます。

新たな三学期制のイメージ

「学校教育推進のキーワード」

- 豊かな学力** 学び(学習や経験)、心が伴う思考や判断など、生活の中で生きて働く学力を身に付けていきます。
- 確かな育ち** 自立と協働を図るために、主体的で能動的な学びを広げていきます。
- 多様な感性** さまざまな人の在り方を理解し、尊重したり、その人にあわせた行動をとったりする感性を磨いていきます。



三学期制へ移行するまで

平成18年度にスタートした二学期制。10年後の平成28年度に保護者や教諭などを対象に実施した学期制検証アンケートにはさまざまな意見が寄せられました。その結果をもとに、市教育委員会は「今後の学期制の在り方」などの検討を行うため、有識者で構成された「学期制検討委員会」に諮問を行いました。

平成29年6月の検討委員会からの答申は「二学期制で築いた成果と明らかになった課題を踏まえた三学期制へ移行することが望ましい。」との結論でした。ただし留意点として「二学期制の成果や課題を踏まえるとともに、新学習指導要領の趣旨を確実に取り入れること」などがあり、市教育委員会は、答申をもとに協議を重ね、令和2年度から三学期制に移行することとしました。



「豊かな学力」
「確かな育ち」
「多様な感性」
を意識した三学期制



新 たな 三学期制の ポイント

二学期制の成果を踏まえた

教育週間に土曜授業を実施

教育週間に土曜授業（半日）を実施します。

これは平日に参加できない地域や保護者の皆さんにも参加してほしいためです。

教育週間の意義を地域や保護者の皆さんと一緒に再度見つめなおし、地域全体で子どもたちを育てたいという思いがあります。

※教育週間は7月1日を含む

1週間で、各学校で設定します。

2学期は8月末の平日4日間の午前中授業から

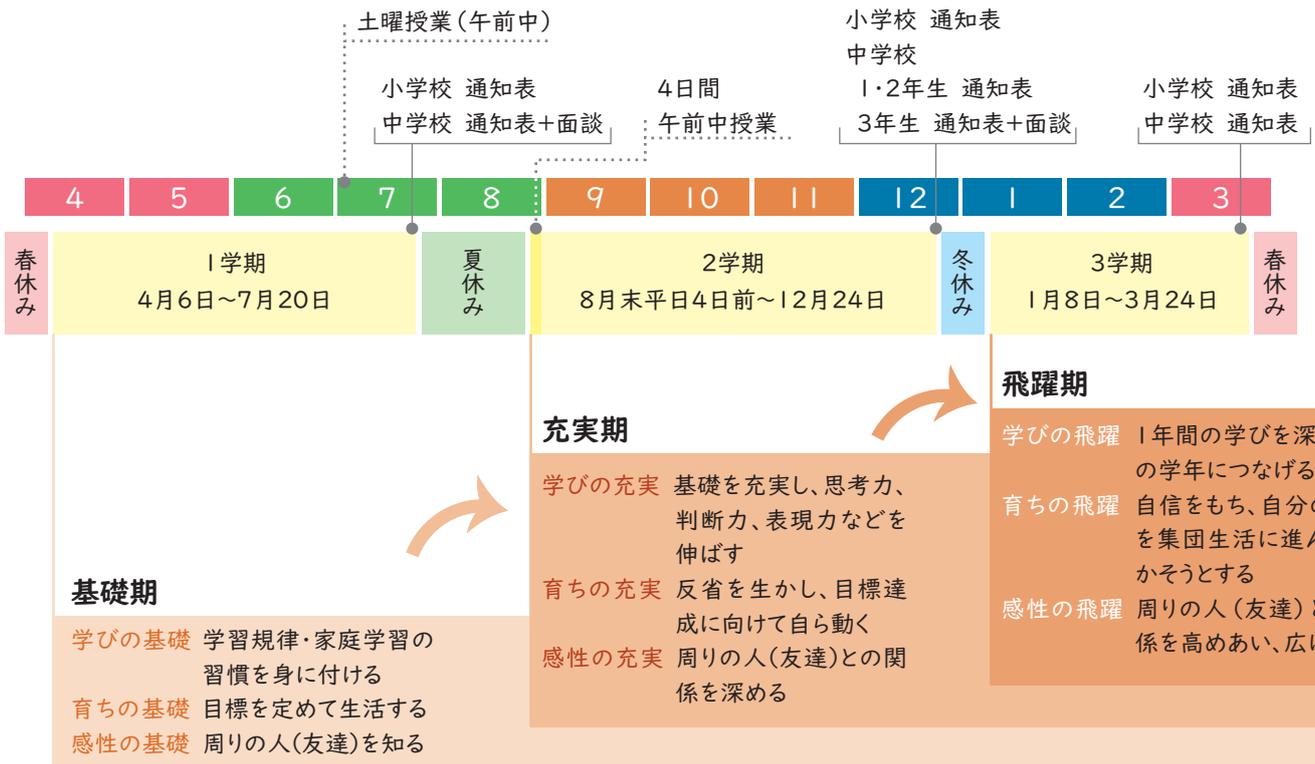
夏休みから学校生活のリズムに徐々に切り替える時間とする

ためです。また、各学校の特色ある教育活動に充てる時間を確保したり、先生が子どもと向き合う時間に少しでも余裕を持たせたりするためです。

通知表は年3回

通知表は、小・中学校ともに毎学期末にお渡しします。通信欄に学校での様子を記載しますが、面談を行う場合は記載せず、直接お伝えします。

なお、中学校1～3年生の1学期末および中学3年生の2学期末は面談を行います。



よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、社会との連携・協働によって実現を図ることが大切です。

子どもたちのすぐそばにいる大人として、学校と家庭、地域がより一層連携して、子どもたちを育てていきたいと考えます。皆様のご協力とご支援をよろしく願います。

地域、社会全体で
「はぐくみ」
「ささえ」
「つなぐ」

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査結果

実施日 平成31年4月18日
対象 小学6年生、中学3年生

調査内容

小学校…国語、算数、児童質問紙
中学校…国語、数学、英語、生徒質問紙

本調査は、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てるため、実施されています。
昨年までの調査と異なり、「知識」と「活用」に分かれていた問題が、二体的に問われる内容となりました。また、中学生の科目に英語が追加されました（3年に1度の実施）。



結果

● 教科に関する調査(平均正答率 %)

教科	対象	小学6年生			中学3年生		
		大村市	長崎県	全国	大村市	長崎県	全国
国語		60	61	64	71	73	73
算数/数学		63	65	67	59	60	60
英語		-	-	-	53	54	56

全国平均より正答率が高かった問題

- 小学国語** 情報を相手にわかりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を、捉えることができるかをみる問題
- 小学算数** 図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができるかをみる問題
- 中学国語** 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことができるかをみる問題
- 中学数学** 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかをみる問題
- 中学英語** 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができるかをみる問題

全国平均より正答率が低く、改善が必要な問題

- 小学国語** 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができるかをみる問題
- 小学算数** 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することができるかをみる問題
- 中学国語** 語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解しているかをみる問題
- 中学数学** 数の集合と四則計算の可能性について理解しているかをみる問題
- 中学英語** 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができるかをみる問題

● 質問紙調査

回答は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」の4択です。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が高かった質問事項

小学校

- ・自分には、よいところがあると思いますか
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか

中学校

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
- ・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が低かった質問事項

小学校

- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか
- ・これまで受けた授業では、自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表していたと思いますか

中学校

- ・家で自分で計画を立てて勉強をしていますか
- ・将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、職業についたりしたいと思いますか

※ 割合が低かった質問事項は、全国でも課題となっています。